

いずみ

泉会事務局
〒157-0076
世田谷区岡本二丁目33番23号
TEL 03(5429)6721(代)
FAX 03(5429)6722
info@izumikai.jp
https://izumikai.jp



コイノニアかみきた

お昼休みはトランプに夢中!



本年度の聖句

あなたがたの天の父は、求める者に良いものをくださるにちがいない。だから人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。
「マタイによる福音書」第7章11節〜12節

「恩師 澤正雄先生」

理事長 齋藤 金義



人にはそれぞれ恩師がいる。幸いなことに私には恩師といふべき先生が何人かおられる。当会の創設者である浅野順一牧師や宇治カルメル修道院長の中川博道神父は信仰の師であるが、学校時代の恩師と言えば澤正雄先生である。澤先生は大分県臼杵のご出身で東京高等師範学校を卒業され、新宿高校の英語教師であった。その授業はユニークでいつも全身全霊の熱血溢れるもので、一寸たりとも気が抜けない。毎回、復習をチェックする小テストがあり、夏休み、春休み明けには小冊子のサイドリーダーのテストが課せられる。澤先生を慕う生徒は沢山いて、年賀状は3千枚出すと必ず翌日には心温まる自筆の年賀状が返ってくる。先生は授業の中で色々な英語の諺も教えてくださる。それがいつもキリスト教、聖書に関係するものであった。先生は根っからのクリスチャンで、損得抜き生き様は正にキリスト・イエスを体現されている。勿論、ご長男澤正彦様も新宿高校、東大から神学校に進み、牧師となり、韓国での伝道に力を注がれた。正彦先生は惜しいことに、若くして天に召されたが、その葬儀に私も出席し、改めて澤先生とご一家の信仰のきずなを心に打たれた。卒業式の時、澤先生は「神共にいまして」という讃美歌を涙声で歌われた。それが讃美歌405番であることを知ったのは、私が洗礼を受けて間もない時であった。

2023年度 事業計画

泉の家

外出や地域交流機会を増やす

定期的に「衛生委員会」を開催し、感染症対策を徹底しながら、利用者の社会参加の機会を増やしていきます。地域の中で利用者が望む生活が続けられるよう、相談支援事業所等関係機関との連携を強化します。

就労継続支援B型 25名/定員
 ●せんべい・ワンちゃん用クッキー ●喫茶営業 ●受託作業等
生活介護 26名/定員
 ●創作活動 ●レクリエーション ●音楽 ●ストレッチ等

経営目標

・施設の危機管理に利用者の意見が反映されるよう体制を構築します。
 ・情報交換や意見交換が活発に出来るよう、利用者家族同士が集まる場を積極的に設けます。

岡本福祉作業ホーム

岡本福祉作業ホーム玉堤分場

支援の多様化を

高齢化・重度化に向けた支援内容の多様化を進め、安全な施設に安心して通っていたけよう取り組んでいきます。人材育成や、利用者・家族の声を反映させ、サービスの質の向上を図ります。

(岡本福祉作業ホーム)
就労移行 6名/定員 ●就労に向けての活動
就労継続支援B型 10名/定員 ●受託作業 ●自主生産品 ●仕入れ販売
生活介護 24名/定員 ●作業 ●創作活動

(岡本福祉作業ホーム玉堤分場)
就労移行 6名/定員 ●就労に向けての活動
就労継続支援B型 13名/定員 ●クッキー製造・販売

経営目標

・業務の多様化に伴うマニュアルの整備(新設・見直し)を行います。
 ・サービスの質の向上につながる、コンプライアンス教育や業務の標準化を推進するための研修を行います。

相談支援センターおかもと

世帯の問題解決への対応

利用者の希望する生活が安心して送れるように、ご本人だけでなく、ご家族が利用されている介護保険事業所等とも連携し世帯全体の課題解決に協力していきます。

特定相談支援 ●サービス等利用計画書の作成等

経営目標

・合理的配慮や意思決定支援についての理解を目的とした所内研修を定期的実施し、職員のスキル向上を図りながら利用者に満足していただけるようサービス調整を行います。

コイノニアかみきた

コロナ禍前の活動を

状況を見ながら制限を緩やかにしてコロナ禍前の活動に近づけていきます。また、コロナ禍で積極的にすることができなかった地域交流も各事業の特性を活かして地域の方と関わり、関係性を改めて構築していきます。

生活介護 20名/定員 ●創作活動 ●運動 ●余暇活動等
就労継続支援B型 30名/定員 ●パンの製造、販売 ●水耕栽培 ●受託作業等

経営目標

・活動の企画段階から利用者が参加します。
 ・事業にとられない職員間の協力体制を築きます。

グループホームこいのにあ

充実したイベントを

毎日を自分のリズムで生活することで安心や体を休めることにもつなげていきます。その中で、ちょっとした非日常を感じられるような、お楽しみイベントも実施します。

共同生活援助 8名/定員 ●健康管理 ●食事提供等

経営目標

・利用者のアイデアを取り入れたイベントを実施します。

法人本部

法人設立70周年

初代理事長浅野順一牧師の助言を得て、泉会と命名されました。泉は、『ヨハネ福音書』(第4章14節)の「わたしが与える水を飲む者は、決して渇かない。わたしが与える水はその人の中で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る」という言葉に由来します。わたしたちはこのわきあがる力を障害福祉に注ぎ、法人事業にとどまることなく地域社会に目を向け地域共生社会へとつなげて行きます。

経営目標

・事業環境への対応(高齢化・核家族化の中で課題は多様化・複雑化)をします。
 ・危機管理体制への整備と地域との連携(災害対策や事業継続計画の再考、有事への対応)をします。
 ・コロナ対応は「ニューノーマル」(衛生環境を遵守すると同時に、日常への復帰に伴う豊かさや正常活動の回復)に対応します。
 ・法人役員改選年度、6月からの新体制へ移行します。

日の出舎

ADLの維持とQOLの向上

新型コロナ対策での外出制限や活動の縮小、更には高齢化も相まって利用者の体力や身体機能、意欲の低下が懸念されます。感染対策は継続しつつも、運動機会の提供や活動の幅の拡大により利用者の心身の健康の維持・向上を目指します。

施設入所支援 45名/定員 ●入浴、排泄、食事介助等 ●必要な介助

経営目標

・利用者の日常生活動作(ADL)の維持のため、運動やリハビリを継続して行える体制を構築します。
 ・生活の質(QOL)向上のため、外出の機会を増やすなど余暇の充実を図ります。

生活介護 55名/定員 ●創作的活動 ●通院支援 ●運動等必要な介助等
短期入所 2名/定員 ●入浴、排泄、食事介助等 ●必要な介助

就労日の出舎

人権の尊重と新たな作業体制の確立

職員一人一人が尊厳の気持ちを持って支援に当たる事を再確認します。また、これまでの作業を見直し、安全で確実な作業体制を確立します。

就労継続支援B型 20名/定員 ●木工、受託作業等 ●草原支援等

経営目標

・社会参加と将来の自立のための利用者と職員の検討会を設けます。そこからSNSや新たなホームページでの事業の発信も含め生活世界の拡大や就労に向けた取り組み、社会生活の向上をめざします。
 ・利用者安全委員会を中心とした役割活動を通じ、仕事や安全衛生について共に考え、利用者の運営参加を促進します。

相談日の出舎

多様化する地域課題にも対応

利用者と直接面談をすることで、ご自身が希望する生活実現のサポートをします。また、家族の高齢化や本人の障がい・持病など、利用者を取り巻く環境に応じて、高齢者分野や医療分野などとも連携を図ります。

特定相談支援 ●サービス等利用計画書の作成等

経営目標

・現在関わりのある関係機関との連携を深めるとともに、サービスや分野に関わらず、新たな事業所等との関係構築を積極的に進めます。

グループホームのぞみ

利用者が自分で考える生活と社会参加

利用者が社会参加をしながら、より自律的な生活を送ることができるよう、障がい特性や状況への合理的配慮を通じて、利用者の年齢に沿った将来を見つめる支援を行います。利用者自身が考え、決めるという基本を大事にしています。

共同生活援助 6名/定員 ●毎日の食事と毎日の入浴介助 ●排泄介助と健康支援 ●通院支援

経営目標

・毎月の防災訓練を行い、うち8割は総合訓練を行います。
 ・利用者会で社会参加や運営参加のあり方を話し合い、実践しながら、第三者評価の利用者の総合的な満足度評価を『満足』以上8割の評価をめざします。

泉の家

ボランティアの皆様と一緒に

本田 奈美

泉の家では、いつもお世話になっているボランティアの皆様・給食業者・送迎業者に感謝の気持ちを伝える日として「ありがとうの日」を行っています。感染対策をしながらも、今年はなんと3年ぶりにボランティアの皆様を招待することができ、利用者職員一同意気込んで準備を進めました。

当日は、事業間をリモートでつなぎ、クイズ大会・ダンスなどを行いました。クイズ大会はボランティアの方に生活介護と就労B型のそれぞれのチームに入ってもらっていました。今まで関わることが少なかった利用者や交流でき、新しい出会いも生まれました。ダンスでは、ボランティアの方にピアノを弾いていただいて「ジャンポリッキー」

を皆で踊りました。カチューシャやコスチュームをつけ、リズムに乗って盛り上がりました。また、活動のスライドショーを上映し、一緒に思い出を振り返りました。「こんなこともあったよね～」と話が弾み、3年ぶりに通常開催できたことの喜びを実感しました。

ボランティアの皆様に関わっていただけることで日常に彩りが生まれます。利用者や職員にとっても新たな発見や楽しみにもつながります。いつもありがとうございます。



いつもありがとうございます



何が出るかな?



春夏秋冬、時の移ろいを、会場内の各エリアで表現しました



みんなで作品展を楽しみました!

岡本福祉作業ホーム

岡本福祉作業ホーム・玉堤分場 合同作品展開催

山田 瑶太

2月初旬、世田谷美術館にて、岡本福祉作業ホーム・玉堤分場合同作品展「(駅)岡本ホーム発、四季を巡る旅」を開催しました。

会場には、本園での活動で制作された作品や、分場で制作された作品『繋(つなぐ)』と書道クラブの題字が展示されました。さらに、テーマ作品として、本園は絵の具やフラワーペーパーでデコレーションした駅舎、電車のイラストと線路に加え、四季のイラストは一人ひとりの利用者が思い思いの色を用いて作り上げました。分場は四季に合わせて貼り絵で4本の木を制作し、会場を彩りました。

会期中は、260名のお客様にご来場いただき、「駅をテーマにして全体のまとまりが感じられて、素敵な旅をさせていただきました。それぞれの個性や得意なことが生かされていて、とてもいいなと思いました」などの感想を頂戴しました。

本園と分場の利用者の魅力的な作品をお楽しみいただけてよかったです。

岡本福祉作業ホーム 玉堤分場

「地域とともに」開催しました

半澤 恵理

3年ぶりに「地域とともに」を開催しました。コロナ禍でも実施できる環境や方法を模索した結果、春休みの3日間、施設正面玄関の駐車場で、クッキー販売とラベルの絵描き体験、お面の顔描き体験を行いました。また、希望者には人数を制限して施設見学を行い、利用者が作業の説明をしながら案内しました。以前体験に訪れた方が成長した姿で訪れたり、「なかなか遠くに行けないので、こうしたイベントはありがたいです」と仰り参加された方もいて、地域交流の良い機会となりました。日常のテラス販売の積み重ねもあって元気よく声を出したり、ポスターの位置を工夫したりと、利用者もそれぞれ積極的に参加していました。

地域の皆様にも支えていただき、2022年度の施設行事を無事に終えることができました。ありがとうございました。



絵描き体験!完成



施設見学ガイド

いらつしゃいませー

日の出舎

入所者の日帰り旅行に行ってきました

三上 崇

3月14日に、入所の利用者と職員で、「新江ノ島水族館」へ日帰り旅行に行ってきました。今回は利用者5名、職員3名の合計8名での旅行となりました。

日の出舎を出発し、高速道路に乗ると直ぐに渋滞があり、予定より30分遅く水族館に到着しました。到着後は混雑を避け少し早めのランチタイム!皆さんメニューを見ながら好きな食べ物をオーダーし、完食されました。

食後はイルカショーを観覧しました。目の前で大きなイルカがジャンプしたり、手を振ったり、声を出したりと、時間は短かったですが見ごたえのあるショーでした。その後はゆっくりと水槽の魚やクラゲ達を見てまわりました。近くの水槽で大きなエイやサメが通ると「わ〜」「おっかいね〜」などの歓声もあが

り、一通り見学した所で帰りの時間となりました。帰りの車中で皆さんに感想をお聞きしたところ、やはり1番人気は「イルカショー」、そして2番人気は、なぜか水族館に2頭居た「カピバラ」でした。

最近、外出することがなかなか難しくなっていますが、無事に笑顔で日帰り旅行に行けたことが、私たちの一番の思い出になりました。



素敵なイルカショー! いい思い出になりますように...☆



木のあたたかみも 感じられる製品です...!



一生懸命頑張ります!!



美しい色になります♪

就労日の出舎

新入職員と新製品

井上 政志

2023年1月より就労日の出舎に入職しました、井上政志と申します。

以前は生活困窮者支援として、生活保護を受けている方の地域生活に関わる仕事もしておりました。まだまだ慣れない点も多く、皆さんにご迷惑をお掛けしているかもしれませんが、今は先輩職員や利用者の皆様から日々教わり、関わることで見えてくる発見が学びとなっております。今後とも宜しくお願い致します。

さて、就労日の出舎では木工製作や薪束作業が主ですが、新たな製品づくりができればと考えております。現在は、木材と樹脂を組み合わせた製品や、ポーリングアートを使用した製品などを試作しているところで、皆が新しいことを経験できるような製品づくりができればと、取り組んでおります。

グループホーム こいのにあ

火曜と土曜は ぞみ捨ての日!

丸山 しいな

グループホームこいのにあでは、利用者が自分の生活に向き合い、考え、行動する機会として「自分で出した資源ごみは自分で捨てる」取り組みを始めました。これまでは、利用者個人から出るごみも施設から出るごみと一緒に「事業ごみ」として取り扱っていましたが、世田谷区に依頼し「家庭ごみ」の集積所を設置しました。今では、利用者が自分で資源ごみを分別し、ごみ出しをしています。

毎日飲んでいるジュースの缶や、夜に楽しんだお酒のビン、アマゾンから届いたダンボール...、一週間の間にも沢山の資源ごみが出ます。「ペットボトルを捨てるにはどんな大きさの袋を用意すればよいか?」「朝焦らないためにはいつ準備をしておけばよいか?」「次の収集日はいつ?」など、わからないことは職員と一緒に確認し、ご家族にもご協力いただきながら、

少しずつ新しいごみ出しスタイルに慣れていっています。

集積所はグループホームの玄関を出て、歩道に出る曲がり角。ダイニングのホワイトボードに掲示されているごみの収集カレンダーを確認し、ごみ袋を片手に「いきます!」。それぞれごみ出しをしてから通所先や職場へ向かっていきます。



ダンボールをキュッと束ねる!



オリジナル分別表



感謝

みなさまからの温かいご寄付とボランティア活動に心より感謝申し上げます。
またこのほかの方々の様々なご協力にも厚く御礼申し上げます。
みなさまの支えが私たちの力となっています。

23年1月～23年3月

一般寄付

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|------------|----------------|--------|--------------------|----------|--------------|---------|------------------------|-----------------|---------------------|----------------|-------------------|---------|-------------|---------|------------|------------|---------------------|---------|--------|---------|-----------|---------|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 吉村 謙 様 | 吉岡 喜人・郁子 様 | 学校法人明治学院高等学校 様 | 藤原 勇 様 | 株式会社福祉会計サービスセンター 様 | 坂西 千鶴子 様 | 学校法人日本豊話学校 様 | 中山 泰吉 様 | 学校法人東洋英和女学院中高部 宗教委員会 様 | 日本基督教団 田園調布教会 様 | 学校法人田園調布学園中等部・高等部 様 | 日本基督教団 鶴川北教会 様 | 日本基督教団 東京教区西南支区 様 | 玉置 雄三 様 | 学校法人玉川聖学院 様 | 高橋 雅二 様 | 学校法人捜真学院 様 | 仙川教会女性の会 様 | 学校法人聖ドミニコ学園中学高等学校 様 | 島田 治夫 様 | 渋谷教会 様 | 志田 文子 様 | こひつじ幼稚園 様 | 清永 丈太 様 | 日本基督教団 砧教会 様 | 学校法人青山学院中等部 様 | 学校法人青山学院高等部 様 | 学校法人青山学院初等部 様 |
|--------|------------|----------------|--------|--------------------|----------|--------------|---------|------------------------|-----------------|---------------------|----------------|-------------------|---------|-------------|---------|------------|------------|---------------------|---------|--------|---------|-----------|---------|--------------|---------------|---------------|---------------|

ボランティア

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|---------------|----------|----------|---------|---------|-----------|---------|---------|----------|---------|---------|----------|---------|--------|----------|---------|
| 山本 光枝 様 | 山内 浩二 様 | 守屋 悠 様 | 村上 研二 様 | 宮本 和美 様 | 水上 拓郎 様 | 細田 隆 様 | 日本基督教団 五田市伝道所 | 舟橋 みつ子 様 | パストラーレ 様 | 野澤 順子 様 | 徳田 行香 様 | 救使河原 麻美 様 | 諏訪部 麗 様 | 下田 麻紀 様 | 佐藤 あずさ 様 | 小松 理枝 様 | 小島 修治 様 | 木村 ルミ子 様 | 上村 尚子 様 | 小幡 仁 様 | 白井 ヨシノ 様 | 上坂 聖子 様 |
|---------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|---------------|----------|----------|---------|---------|-----------|---------|---------|----------|---------|---------|----------|---------|--------|----------|---------|

物品寄付

- | | | | |
|---------------|----------|---------|---------|
| 取締役会長 藤倉 幸彦 様 | 三栄造園株式会社 | 渡辺 節子 様 | 大原 和美 様 |
|---------------|----------|---------|---------|

友の会会費

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|-------------|---------|---------|
| 牧野 信次 様 | 島田 治夫 様 | 清永 丈太 様 | 北白川集会レプタ会 様 | 内田 文二 様 | 岩崎 能江 様 |
|---------|---------|---------|-------------|---------|---------|

いつともあかほり



イラスト・文：泉の家利用者

寄付金のご報告

感謝、感謝、感謝

後援会いづみ友の会事務局
木下 美奈子

日頃より泉会の事業にご理解ご支援をいただきましてありがとうございます。厚く御礼申し上げます。
今般のコロナ禍の中、皆様におかれましては、生活やお仕事に少なからず影響を受けられていることと
察いたします。このような大変な時期に、様々な企業・個人の方や友の会会員の皆様並びに利用者ご家族
の方々からたくさんのご寄付・ご寄贈をいただいております。温かいご支援、心より感謝申し上げます。
皆様からのご寄付・ご寄贈につきましては、各事業所で備品購入等に活用させていただいております。今
回はその一部をご紹介しますのであります。

泉の家

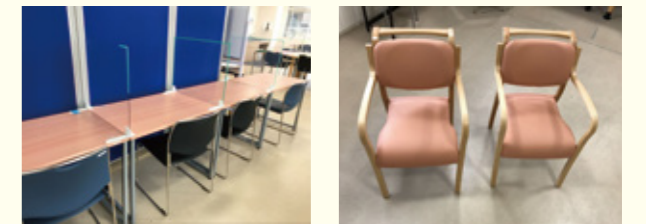
泉の家は、機械浴槽の交換や外壁工
事、エアコンの入れ替えなど、今後の施設
備品購入や大規模修繕費等で使わせてい
ただく予定です。まだ少し先になりますが、
その時にはご報告させていただきます。



大切に使用していますが
故障が増えてきました

コイノニアかみきた

コイノニアかみきたでは新しい利用者の方を
迎えられるよう、作業机と椅子を購入しまし
た。就労事業では作業がしやすい机、生活介護事
業では座りやすく、倒れにくい椅子で新しい利用者
の方をお迎えすることができました。



作業に集中できる環境を整えていきます

日の出舎

日の出舎は、現在の建物への改築後10年以上が経過し、建物の修繕や備品の買い替えの時期を迎えています。こうした中でも、大型洗濯乾燥機や各居室のエアコンなど、修繕や買い替えに多額の費用が必要となるものに不具合が始まっています。入所施設である日の出舎では、これらの機器は毎日フル稼働しており、日常の運営に欠かせない大切なものでもあります。利用者が安全で快適な生活を24時間365日送れるよう、皆様のご寄付を活用させていただけたらと考えております。



発見!! 私たちの知らなかった利用者の姿

泉の家の就労継続B型の利用者、池尾莉奈さんを紹介いたします。池尾さんは、帰宅後や週末には自宅でお菓子作りをしています。お母様にも、お菓子作りのきっかけや料理中の様子を伺うと、「8歳の時に肝臓移植手術で半年ほど入院しました。退院前の一時外泊の時に親子で何となくお菓子を作り、それをお医者さんたちにプレゼントしたのがきっかけです。それから、いつもお世話になった方々にお渡しするのが嬉しいようで今まで続いています。お菓子作りを通じ娘の世界が広がりました。同時にこだわりも増えてしまい…お察しの通り我が家のキッチンはずっとも賑やかです」とのことでした。この趣味を生かして、泉の家ではおせんべいづくりを頑張ってくださいています!

お菓子を作るのは
パウンドケーキや
クッキーが好きです。
莉奈より。

パティスリー
莉奈

▶▶ 予定表 2023年度6月~9月 ◀◀

行事

- 7月
 - 14日(金) 岡本ホーム 合同運動会 玉堤分場
 - 22日(土) コイノニア コイノニアまつり
 - 24日(木) 玉堤分場 ~8月10日(木) 夏の工作教室
- 8月
 - 未定 岡本ホーム 夏の陶芸体験
 - 26日(土) 日の出舎 納涼祭 就労日の出舎
- 9月
 - 2日(土) 泉の家 Open the Door
 - 2日(土) 岡本ホーム まるごとおかもと

販売会

- 6月
 - 3日(土) コイノニア うめとびあフェスタ
 - 3日(土) 玉堤分場 玉堤分場テラス販売
 - 7日(水) コイノニア 福音寮
 - 8日(木) 玉堤分場 経堂駅販売会
 - 13日(火) コイノニア うめとびあ
 - 14日(水) コイノニア 教育総合センター
 - 17日(土) コイノニア 松沢地区社協広場
 - 21日(水) コイノニア 福音寮
 - 28日(水) コイノニア 教育総合センター
- 7月
 - 8日(土) コイノニア いっちょうめパン土曜日営業
 - 12日(水) コイノニア 教育総合センター
 - 19日(水) 岡本ホーム スカイキャロット 「はっぴいはんどめいど販売会」
 - 25日(火) コイノニア うめとびあ
 - 26日(水) コイノニア 教育総合センター
- 8月
 - 5日(土) 泉の家 区民祭り
 - 8日(火) コイノニア うめとびあ
 - 9日(水) コイノニア 教育総合センター
- 8月
 - 23日(水) コイノニア 教育総合センター
 - 24日(木)・25日(金) 玉堤分場 納涼祭
- 9月
 - 12日(火) コイノニア うめとびあ
 - 13日(水) コイノニア 教育総合センター
 - 14日(木) 岡本ホーム 光明学園出張販売
 - 20日(水) 岡本ホーム スカイキャロット 「はっぴいはんどめいど販売会」
 - 23日(土) コイノニア いっちょうめパン土曜日営業
 - 27日(水) コイノニア 教育総合センター

【お知らせ】新型コロナウイルスの影響で記載の予定が変更や中止となる場合があります。また、恒例となっている行事につきましても、中止とさせていただきます。詳しくは、各事業所までお問い合わせ下さい。

編集者 発行所
 障害者団体定期刊行物協会
 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-11-17
 頒価五十円

法人本部 泉の家 〒157-0076 世田谷区岡本二丁目33番23号
 ☎03(3417)3451(代) FAX03(3417)3463
 ✉izumi@izumikai.jp

岡本福祉作業ホーム 〒157-0076 世田谷区岡本二丁目33番24号
 ☎03(3415)3366(代) FAX03(3415)4976
 ✉okamoto@izumikai.jp

相談支援センターおかもと (岡本福祉作業ホーム内)
 ☎soudan-okamoto@izumikai.jp

玉堤分場 〒158-0087 世田谷区玉堤二丁目3番1号 B1F
 ☎03(5707)9431(代) FAX03(5707)9433
 ✉tamatumi@izumikai.jp

コイノニアかみぎた 〒156-0057 世田谷区上北沢一丁目32番14号
 ☎03(5316)2251(代) FAX03(5316)2252
 グループホームこいのにあ 〒03(5316)2254(グループホーム)
 ✉koinonia@izumikai.jp

日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
 ☎042(597)1451(代) FAX042(597)2205
 ✉info@hinodesha.org

グループホームのぞみ 〒197-0804 あきる野市秋川二丁目3番1号
 ☎042(533)3608 FAX042(533)3609

編集後記

新生活にも慣れてきた頃かと思います。2023年度はどんな楽しい記事をお届けできるのか、編集担当もワクワクしています(泉の家・櫻井)